



**徳島県内議会トップ10公開 1位は那賀町議会**  
**3議会が全国100位ランクイン**  
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は8月28日、2017年度「議会改革度調査」の徳島県内ランキング上位を公開しました。

那賀町が前年より50位近く順位を上げ首位になりました。続く徳島県、小松島市も順位を上げ、県内トップ3が全国100位にランクインする結果となりました。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>



▼徳島内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下、前年未回答は「-」と表記。 ※徳島県内は14議会が回答（回答率56%）

順位	議会名	総合順位	前年比
1	那賀町議会	49	+47
2	徳島県議会	61	+29
3	小松島市議会	85	+10
4	北島町議会	-	-
5	鳴門市議会	-	-
6	石井町議会	-	-
7	阿波市議会	-	-
8	三好市議会	-	-
9	徳島市議会	-	-
10	阿南市議会	-	-

■TOP4議会の特徴

- ・1位【那賀町議会】議員提案条例を年間4件提出し、検証も併せて実施している。議会報告会を年間6回開催。議決事項には、基本構想、基本計画、総合戦略の策定に関する項目を追加している。
- ・2位【徳島県議会】議会基本条例を基に議会改革の実行計画を作成。また小学生や中学生を対象に夏休み県議会体験会と題し「子ども県議会」「生徒と議員の意見交換会」などを実施している。
- ・3位【小松島市議会】地方自治法改正による通年会期を採用。またタブレット端末を導入しているほか、予算決算常任委員会を設置し事務事業評価を議会として実施している。
- ・4位【北島町議会】年2回開催している議会報告会の結果を政策提言としてまとめているほか、一般会議において中学生との意見交換会を実施しとりまとめた意見を町長に提出している。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。（回答率74%）。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

☆ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。